

近代を彫刻／超克する ——津奈木・水俣編

小田原のどか 彫刻家 彫刻研究者

多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業後、東京芸術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。筑波大学大学院人間総合科学研究科にて芸術学博士号を取得。歴史を掘り起こし社会現象に照らして今注目すべき問題を作品や評論を通じて世に提起している。多摩美術大学などで非常勤講師も務める。東京都在住。評論家としても活動し、『芸術新潮』『東京新聞』に美術評を連載。主な単著に『モニュメント原論：思想的課題としての彫刻』（青土社、2023年）。



津奈木町の田の神石像（小田原のどか撮影）

2008年から続く、住民参画型アートプロジェクトの一環として、2023年に2か年の計画で始まったのが、「小田原のどかつなぎプロジェクト」です。1年目の成果展として実施した津奈木町の16点の野外彫刻を候補者に見立てた「彫刻選挙」は、民主主義の根幹でもある「投票」という行為について、町内外の人々が共に考える機会となりました。プロジェクトの2年目は、さらにフィールドを広げ、津奈木町の田の神の石像、水俣市のモニュメント、熊本県内に点在する漫画を題材とした銅像について、住民の協力を得ながら考察を深めました。2年間の集大成となる本展では、これらの考察結果を作品化して展示するとともに、1993年に上巻が刊行されるも、30年あまり未刊のままとなっている『津奈木町誌』の下巻をめぐる参加型作品も公開します。



『津奈木町誌』上巻 1993年刊行 小田原のどか蔵

小田原のどか

2024年9月7日(土)－11月24日(日)

観覧料：一般 500円 (450円) 高校・大学生 400円 (350円) 小・中学生 300円 (250円)

※()内は20名以上の団体料金。 ※水俣市・葦北郡内の学校による利用は事前申請により無料。

※津奈木町在住または津奈木町の学校に在籍する小・中学生は無料。

関連プログラム 9月7日(土) オープニングトーク 小田原のどか

14:00－14:45 会場：1階展示室 定員20名 (申込不要・当日先着順) 参加費：観覧料

11月3日(日) 対談「津奈木町の田の神と人々」

小島摩文 (民俗学者／鹿児島純心大学教授) × 小田原のどか

14:00－15:30 会場：アトリエ 定員20名 (申込不要・当日先着順) 参加費：無料

11月4日(月・祝) 対談「津奈木スタディーツアー＋貝拾い」

小松原織香 (哲学研究者) × 小田原のどか

13:00－16:30 会場：アトリエ、旧赤崎小学校付近 定員20名 (要事前申込・先着順) 参加費：無料

11月3日(日)－11月4日(月・祝) 出張ライモボックス

10:00－16:30 会場：1階多目的ホール

11月23日(土) 鼎談「写真家と文化研究者と彫刻家が思う津奈木・水俣」

金川晋吾 (写真家) × 山本浩貴 (文化研究者) × 小田原のどか

14:00－15:30 会場：アトリエ 定員20名 (申込不要・当日先着順) 参加費：無料

※事前申込が必要なプログラムは公式ウェブサイトからお申し込みください。 ※変更になる場合は公式ウェブサイトとSNSでお知らせします。

同時開催 つなぎ美術館 コレクション展

ユージン・スミスと
アイリーン・スミスが見た
MINAMATA

つなぎ美術館が収蔵するユージン・スミスとアイリーン・スミスが1970年代前半に水俣市や津奈木町などで撮影した写真の中から約40点を展示します。

日時：2024年9月7日(土)－11月24日(日)

観覧料：無料 会場：3階展示室

主催：つなぎ美術館 (津奈木町)

開館時間：10:00－17:00 (入館は16:30まで)

休館日：水曜日 (祝日の場合は翌平日)

会場：1階展示室

主催：つなぎ美術館 (津奈木町)

助成：公益財団法人水俣・葦北地域振興財団

この事業は、水俣葦北振興計画に基づく地域振興事業として、水俣・葦北地域振興財団の助成により実施しています。

〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城 494

TEL 0966-61-2222 FAX 0966-61-2223 www.tsunagi-art.jp

九州産交バスつなぎ温泉前バス停から徒歩2分／肥薩おれんじ鉄道津奈木駅から徒歩10分

南九州西回り自動車道津奈木 IC から車で3分／JR 九州新幹線新水俣駅から車で10分

